

生き生き井田川

2021年7月1日発行 井田川小学校学校運営協議会 82-2021

令和3年度第2回学校運営協議会について

5月26日(水)に第2回学校運営協議会が開催されました。今回のテーマは「井田川小学校の学力向上と学力保障の取り組みについて」ということで、午前中に5年5組、わかば学級、3年2組の一人一台タブレットを使った授業の視察を行い、夜の会議で活発に感想や意見が交わされました。その中の一部をご紹介します。



① 特色ある学校づくり～授業の中での一人一台タブレット活用事例について～



5年5組 社会

「暖かい沖縄県に住む暮らし」

- ① 一人ずつ沖縄の家の周りの工夫を考えて絵にする
- ② グループで話し合い班長がまとめる
- ③ 班ごとに発表する

わかば学級 理科

「ゴーヤの観察」

- ① ゴーヤの写真を撮る
- ② 拡大して観察する

3年2組 国語

「言葉を楽しむ」

- ① 自分の作品(しゃれ・回文・アナグラム)を作る
- ② 全員の作品からお気に入りを見つける
- ③ お気に入りの作品を発表する

《委員より》

◆5年5組では、画面の拡大縮小を工夫しながら絵を描いたり、理由を入力してタブレットの操作に慣れているのが印象的だった。わかば学級では、ゴーヤの写真を撮って拡大して観察することで、今まで見えにくかったことにも気づくことができるのは新しい発見で、タブレットの良さだと思った。3年2組では、席を移動せずタブレットで友達作品を見ることができ、進行がスムーズで発表もしやすそうだった。

◆子どもたちが楽しそうに学んでいた。タブレットが手元にあるといたずらをする子もいるのではないかと心配していたが、担任が一斉に「ロック機能」を使えることがわかり安心した。

◆初めてタブレットを使った授業を観た。教師が全員の答えを瞬時に確認できるのは利点ではあるが、正解・不正解があるものなど他の子に答えを見られたくない子への対応も考えてほしい。子どもたちのために何を見せることが大事なのか教師の力量が問われる。



◆今年度から一人一台のタブレットが導入されたが、どのくらいの頻度でタブレットを使った学習をしているのか。楽しくできる子がいる反面、不得意でストレスを感じる子もいるのではないかと心配している。



《学校より》授業を観ていただいた学校運営協議会委員からの率直な意見はこれから考えていかなければならないことだと思います。一斉表示などについては、今まで以上に丁寧に子どもたちの個々の学習状況を配慮した上で活用していきます。また「読み」「書き」など基本的学習は従来通り力を入れながら、タブレット学習が効果的なものについて利用し、頻度についてもタブレットを使うことが目的ではなく学ぶ手段として有効な場合に活用していきたいと思っています。

② 学力保障の取り組み…教師が授業力を上げ、わかりやすい授業をするのは大前提ですが、その上でさらに力を入れたいこと、新しく取り組みたいことを提案していきます。

◎チャレンジワークシート…一学年下の内容を繰り返し学習する機会を作る。毎週金曜日に5枚程度のプリントを配布。裏面に答えがあるので見ながら学習することもできる。

◎ICTのドリル学習…10月から三重県で導入予定。井田川小でも活用していきたい。

◎家庭学習の手引き…学習時間(学年+10分 1年20分…6年70分)

◎読書…「読み聞かせ」「図書館まつり」「読書チャレンジ」など本に親しむ。



《委員より》

◆高校生でも小学生の頃につまづきで苦労している子がいる。学力保障とはみんなが中学校の卒業範囲まで理解できるようになること。力を入れるところには十分時間をかけて取り組んでほしい。

◆チャレンジワークシートの取り組みの目的を今日聞いてようやく理解した。学校からのメッセージを保護者にもっとわかりやすく伝えてほしい。

◆子どもの放課後の時間が多様化している。家庭の事情もそれぞれだが、早く終わらせて少しでもゆとりさせてあげたい。目標も大事だが、家庭や子どもによっては難しいことも知っていてほしい。

◆チャレンジワークシートは金曜日の宿題ということだが、できない子にとっては宿題が増えること自体がプレッシャーで、答えを写してもわかる喜びがないと逆効果ではないか。学力の底上げという目的に対して結果が伴っているか責任を持って取り組んでほしい。

◆市内の他の小学校で習熟度別にクラスを分けて授業していると聞いた。10月からICTのドリル学習でそれぞれの理解度に合わせて学べるのはいいと思う。

◆スポーツなどで活躍している子にもスポットを当てると子どもたちの力になると思う。



《学校より》たくさんの貴重な意見をいただきました。それぞれの子どもたちの様子を見ながら柔軟に対応できるよう検討していきますので、各家庭でもフォローをお願いします。少人数指導については、いろいろな指導形態がありますが、本校は一人が一斉授業をして、もう一人が個々へのきめ細かな指導に対応しています。

「井田っ子応援団」活動紹介② (ボランティア&教職員アンケートより)

出前授業：各学年の生活科や総合的な学習の時間などに地域の方にゲストティーチャーとして授業をしていただいています。毎年、1年生の「凧作り」、3年生の「養蚕」、4年生の「防災学習」、5年生の「米づくり」、6年生の「キャリア学習」などでお世話になっています。一部をご紹介します。

1年総合「凧作り」



毎年、凧作りでお世話になっています。丁寧に教えて頂く凧作りは子どもたちにとって貴重な体験です。意欲的に取り組み、出来上がった後は、喜んで凧あげをしていました。地域の方から学ぶ機会はこれからもほしいです。



教職員

6年キャリア学習「看護師」



ボランティア

子どもたちが真剣に話を聞き理解しようとしてくれてやってよかったと思いました。お手紙にもたくさんの感想が書いてありとても嬉しかったです。看護師の仕事について少しでも知ってもらえて、将来の選択の手助けになったら嬉しいです。



児童

看護師になろうと思ったきっかけがマザーテレサと聞いて、道徳で習ったのすごいなと感じました。看護師さんの努力や大変さを知ることができてよかったです。自分も誰かの役に立つ仕事をしてみたいです。違う仕事にも通用する話だと思いました。

身近な保護者の方の看護師の実体験は子どもたちにとって非常に参考になりました。将来の生き方を考えるきっかけになったと思います。



教職員

6年社会「わたしたちの願いと政治のはたらき」



亀山市内の中学校給食実施に向けて昨年取り組んだ署名や請願などの市民活動についてお話しました。みんな一生懸命に聞いてくれて嬉しかったです。市民の声や願いを市長や議会に届けることで社会がよくなることを知ってほしいです。



児童

「じゃがまる会」さんのお話を聞いて、どうやって私たちの願いを伝えたらよいか分かりました。いろいろな人の意見を聞いて仲間を集めれば、今までできなかったことも実現できるようになり、一人一人に自分の意見を言う権利があるんだなと思いました。

掃除ボランティア：月に1・2回、子どもたちのトイレを中心にきれいにいただいています。

5名の方が午前中や放課後などそれぞれできる時間に活動中です。



ボランティア

トイレの掃除をしているときに、子どもたちから「ありがとうございます！」と声をかけられとても嬉しかったです。コロナが落ち着いたら子どもたちと一緒に掃除をしたいです。子どもたちが元気に気持ちよく学校で過ごせるよう微力ながらお手伝いしたいと思います。

去年はコロナ禍で子どもたちが十分に掃除できず職員も手が回らなかったの
で、休み明けのトイレ掃除などありがたかったです。特に体育館トイレは大変な
状況だったので本当に助けていただきました。



教職員

井田っ子スマイル教室(学習)：毎週金曜日の放課後に、参加を希望した子どもたちの学習をみていただいています。今年度も6月25日(金)よりスタートしました。井田っ子スマイル教室は文化講座も合わせると60名ほどのボランティアさんにご協力いただいています。



気軽にわからないことを尋ねられる自主的な学びの場になっていると思います。子どもたちは活動が再開するのを楽しみにしていました。一人一人を根気よくみていただいととてもありがたいです。



教職員

毎週定期的に子どもたちの勉強をみることで、成長を感じられるのが嬉しいです。地域のボランティアがサポートすることで、先生方が教育活動に専念し、子どもたちのためにもっと時間を使えるといいなと思います。



ボランティア



※井田っ子スマイル教室(文化)については次号でご紹介いたします。

「井田っ子応援団」の全ての活動でメンバー募集中です。あいた時間や特技を活かして、子どもたちの笑顔のために、一緒に活動しませんか。短い時間でも大歓迎です。ご協力いただける方は学校(教頭:三谷82-2021)までご連絡ください。

